

令和3年度職能委員会報告

〔 2 〕 助産師職能委員会

委員長 石田 麗子

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 12回
- 2) 検討事項
 - (1) 令和3年度助産師職能委員会研修企画
 - (2) 学会発表について
 - (3) 令和4年度研修企画
 - (4) 令和4年度予算立案
 - (5) 職能だより作成

2. 活動報告

1) 会議等

- (1) 全国職能委員長会(WEB) 第1回 7月7日 第2回 令和4年3月3日
- (2) 地区別職能委員長会(WEB) 10月19日
- (3) 福岡県助産師活用推進会議(WEB) 8月6日・令和4年2月4日
- (4) 令和3年度 都道府県看護協会母子のための地域包括ケアシステム推進会議(WEB) 9月8日

2) 学会・研修等参加

- (1) 第29回福岡母性衛生学会(WEB) 7月4日
・分娩取扱施設における母子の連携と協働に関する実態調査-福岡県の現状と課題-
- (2) 第62回日本母性衛生学会(WEB) 10月15日・16日
・第1回 WHC～不妊治療とその後の妊産婦のケアの実践～実践報告
- 3) 令和3年度合同職能集会企画・運営(オンデマンド) 6月15日～8月10日 視聴者: 201名
テーマ: 家庭に潜む闇 貧困と虐待の連鎖 ～子どもを救える社会～
講師: 北里大学医学部公衆衛生学 講師 可知悠子氏

4) 研修会等開催

- (1) 研修名 院内助産スキルアップ研修(オンライン)
開催日 5月16日・5月30日・6月12日
講師 福岡市東区保健福祉センター 健康課母子保健係 姫野たまみ氏
福岡大学病院 看護師長 長谷川まどか氏
東野産婦人科 総師長 清田哲子氏
産業医科大学産業保健学部 教授 實崎美奈氏
井上善レディースクリニック 看護師長 松尾則子氏
国際医療福祉大学大学院 教授 佐藤香代氏
内 容 新型コロナウイルス妊産婦 SOS/助産師出向システムの実例 in福岡 (出向元医療施設の立場から / 出向先医療施設の立場から) / 不妊・不育の悩みをもつ女性の支援/乳腺炎と乳房のケア/助産師のキャリア開発/助産師のコア・コンピテンシー
対 象 助産師経験3年目以上
受講者 18名
- (2) 研修名 新人助産師研修(オンライン)
開催日 7月24日・8月7日・8月22日
講師 久留米大学医学部産科婦人科学講座 教授 吉里俊幸氏
真田産婦人科麻酔科クリニック 総看護師長 島ノ江栄子氏
東野産婦人科 看護主任 岩田優香氏
帝京大学大学院 教授 椎葉美千代氏
愛和病院 看護部長 田中啓子氏
JOHO九州病院 看護師長 早田真由美氏
大牟田市立病院 助産師 長田美智子氏

国際医療福祉大学大学院 教授 佐藤香代氏

内 容 CTG モニター・母体合併妊娠:GDM・HDP・精神疾患・産科出血/産褥期のメンタルヘルスの観察の視点とケア/正常分娩の助産診断・アセスメント/正常分娩の実際(演習)分娩第1期のケア/助産の起源・哲学、助産師の役割、助産師の倫理、目標とする助産師像

対 象 助産師経験3年目までの助産師

受講者 57名

5) 交流会・情報交換会等

(1) 産科管理者交流会

開催日 9月26日

内 容 助産師職能委員会の動向・理事会報告/災害時に職員を守るマネジメント-コロナ禍をとおして-

対 象 産科管理を実践している助産師・看護師

参加者 11名

3. 今後の課題・検討事項等

令和3年度の助産師職能委員会は、年間目標として 1.安全安心な出産環境のための人材育成と体制整備の推進 2.子育て世代包括ケアシステムにおける看護機能の強化に関する意見集約と課題発見の2点を掲げた。令和2年度は、コロナ禍の混乱の中で院内助産スキルアップ研修・新人助産師研修・産科管理者交流会を中止したが、令和3年度は急遽オンライン研修として全研修を開催した。受講者募集に対して助産師が従事するチラシを配布したが、新人助産師研修以外の受講生・参加者は増加しなかった。内容・募集方法を検討していきたい。また地域包括ケアシステム推進のために令和2年度に行った「母子支援に関する助産師の連携と協働に関する実態調査」のデータをもとに、現在の福岡県母子支援状況を分析し課題を明確にした。今後の課題として、地域における連携ネットワークの構築や顔に見える関係づくり、他県を含む情報システムの構築などが求められていた。令和4年度は連携・ネットワークの強化を行っていきたい。